

口腔機能障害をおこす全ての疾患が治療領域

咀嚼・嚥下、構音等に関わる重度の口腔機能障害を伴う疾患(顎変形症、口腔腫瘍、歯槽堤萎縮症、顎関節症)や、睡眠時無呼吸症候群、舌痛症などに対して高度な医療を提供することを目標としています。



診療体制

一般歯科口腔外科診療、各専門医による専門外来を開設しています。腫瘍、組織再生インプラント、顎関節関連疾患、顎矯正、睡眠時呼吸障害、口腔難治性疾患、唇顎口蓋裂補綴、顎顔面骨折、審美歯科の各外来を設けています。

対象疾患

智歯および埋伏歯、顎変形症、口腔腫瘍、歯槽堤萎縮症、顎関節症、顎嚢胞、睡眠時無呼吸症候群、舌痛症、顎顔面骨折、顎顔面組織欠損、重症口腔感染症、口腔乾燥症などや有病者の歯周病など。

診療、研究実績

一般的な診療についての実績

平成22年の新患患者数は2,962名、再来数は21,650名、患者紹介率は52.4%です。デイ・サージャリー(日帰り手術)での手術件数は971件でした。新入院患者数は385名、中央手術室での手術件数は198名でした。

高度医療の取り組み・研究

①インプラント義歯

専門外来で通常の義歯による咀嚼機能の回復が困難な高度の歯槽堤萎縮症に対して歯科インプラント治療を行っています。

②顎顔面補綴

専門外来で顎顔面の腫瘍切除後、外傷あるいは先天性の骨・軟組織欠損に対して、インプラントを応用したエビテーゼの作製を行い、審美的・機能的回復を行っています。

③口腔領域の歯牙・骨軟骨の再生医療

歯牙の歯髄や顎関節液中の特殊な細胞を採取・増殖させ、歯牙や顎骨や顎関節軟骨の再生を目的とした研究を行っています。



目に見えぬ、科学のメスでがんを斬る

「がん」を中心とした腫瘍性疾患の治療を行っています。放射線治療は機能・形態温存性に優れています。さらに、がんの特性に精通した医学、物理学、生物学の専門家が結集し、難治がんの治療、低侵襲性・先端的な治療法の開発と普及を行っています。各科とも連携し個々の病態に応じた質の高い「がん治療」を提供しています。

診療体制

教授以下、スタッフ10名、医員6名、医学物理士5名。毎日の総合外来で全般的な放射線治療に対応するほか、領域別の専門外来を開設。一般 17床、RI 5床の入院病床。特殊治療としては強度変調放射線治療、定位放射線治療、化学放射線療法、RI治療、小線源治療を実施。外来がん診療部臓器別ユニットにも参画し、集学的治療の確立を目指しています。

対象疾患

乳癌、肺癌、前立腺癌、中枢神経腫瘍、頭頸部癌、食道癌、膀胱癌、婦人科癌、悪性リンパ腫、甲状腺癌、小児腫瘍、悪性中皮腫、直腸癌、肝臓癌、皮膚癌、骨軟部腫瘍などの悪性腫瘍全般。

診療、研究実績

一般的な診療についての実績

約1,000人の新患を含む年間約1,200人の放射線治療を実施。乳癌に対する乳房温存療法は累積症例数3,000例以上を有します。常に先端医療を先導。強度変調放射線治療は前立腺癌、頭頸部癌を中心に全国最多の実績を有します。また、肺、食道、膀胱などの難治がん克服に向けて、薬剤との併用や新規照射法の臨床試験を行っています。

高度医療の取り組み・研究

①強度変調放射線治療(IMRT)

最新技術を応用した革新的放射線治療技術です。病変に対する放射線の集中度を著しく高め、治療効果の向上と合併症の軽減の両立が可能です。

②定位放射線治療(ラジオサージャリー)

誤差1mm以内という高い精度で病変部に集中的に放射線を照射します。早期肺癌に対し約90%と高い局所制御率を有します。

③動体追尾照射

新規画像誘導放射線治療装置MHI-TM2000の導入により、動く病変を追尾して狙い撃ちすることが可能となりました。まずは肺癌に対する臨床応用を目指しています。

